

第6回 清水港カーボンニュートラルポート協議会 議事概要

日 時：令和5年3月15日（水）14：00～14：50

場 所：清水マリビル（対面及びWEB形式）

【議事概要】

（事務局からの協議）

○第5回協議会で提示した清水港 CNP 形成計画（素案）への御意見や協議会後に実施したパブリックコメントの結果等を踏まえ、修正した本計画（案）及び概要版（案）を提示した。

○パブリックコメントによる意見の内容及び対応方針について

- ・令和5年2月1日～28日にパブリックコメントを実施。寄せられた意見は7件。
- ・全て一般的な意見であり、本計画に反映するものではなかったが、県の重点施策として取り組んでいるアプリ「クルポ」の推進を一段と加速させるため、本協議会でも推していただきたいとの意見を受け、地球温暖化防止活動を楽しみながら取り組めるものとして、本協議会にてアプリ「クルポ」のチラシとともに紹介した。

○前回協議会からの主な変更点

- ・水素供給イメージとしてパイプラインによる輸送を拡張する修正
- ・清水港の特徴として「コンテナゲート待ち時間の短さ」等、他港と比較しての優位点を追記
- ・ブルーカーボン等の記載を含めた清水港におけるカーボンニュートラルポート形成イメージ図（2050年）の追加
- ・既存ガスパイプライン等のインフラを活用した「e-メタン」の利用促進に関する記述の追加
- ・港湾、産業立地競争力強化の向上に向けた方策の文章を見直し
- ・e-メタンの製造・供給に、“受入”を追加

○質疑応答（構成員からの意見）

- ・本計画の計画策定及び推進体制に、エネルギー事業者を記載すべき
→ 計画(案)を修正
- ・RORO 船の定期航路の年数 2017 年は、2016 年が正しい
→ 計画(案)を修正

（事務局にて、案の修正を一任いただくで了承。）

○今後の予定

- ・本日の意見を反映した清水港カーボンニュートラルポート(CNP)形成計画を、3月中を目途に公表予定。
- ・令和5年度以降については、官民連携で CNP 形成計画の取組内容を推進し、脱炭素社会の早期実現を目指す。また、国の動向を注視しつつ、カーボンニュートラルポート形成計画作成マニュアルの改訂を踏まえ、「協議会」の体制や「港湾脱炭素化推進計画」の作成に向けた具体的な検討を進めていく。